

◆よこて内科クリニック◆ 横手 亮二 先生

所在地：松山市余戸南4丁目15-3

Tel：089-971-1811

開院：平成16年4月

診療科：内科、消化器科、循環器科、呼吸器科

診察時間	月	火	水	木	金	土
9:00 ～ 12:30	○	○	○	○	○	○
14:30 ～ 18:30	○	○	—	○	○	—



当院は余土中学校区に位置し、東は松山中央公園、西は垣生地区あたりを診療エリアとしています。現在、松山外環状道路の建設が進行中です。当院は免れましたが隣接の自宅が立ち退きとなり、現在建て替え中です。外環状道路は、高速道路



から空港へのアクセス短縮を目的としており、空港付近で新・旧空港通りと合流して三津浜まで伸びます。

まさにこれらの地域は、市民病院を頼りとするエリアでもあり、病院へのア

セス改善にも期待が持たれます。

平成26年4月から新S棟での診療がスタートされるとのこと。さらに2期工事も計画されており、同じ場所(一等地)での建て替えが完了すると聞きました。

市民病院の全科に渡り、当院も病診連携でお世話になっています。「地域連携システム」がたいへん重宝しています。今後とも連携の絆をよろしくお願い申し上げます。



天体シリーズ Vol.4 “紙一重”

●アイソン彗星：Comet ISON (4:58 AM, Nov.12, 2013)

Superimposed on comet heads (8 images : 8min)
(Vixen ED815 telescope)



Photographs from Yamashita's home with Canon EOS X3 on LPS-V3・FF (ISO=3200)

●ラブジョイ彗星：Comet Lovejoy (5:40 AM, Dec.7, 2013)

Superimposed on comet heads (4 images : 4min)
(Takahashi FS-60BC telescope)



昨年は2大彗星の年といわれたが、春に出現したパンスター彗星(2013年夏号の本誌に投稿)は思った程増光せず、一方、昨年暮れには世紀の大彗星になると期待されたもう一つのアイソン彗星(写真左)も、太陽への最接近時にその高熱と強い重力に耐えきれず崩壊、消滅してしまった。

逆にいえば、アイソン彗星の近日点が太陽の直径よりも近接した軌道を通過すると計算されたからこそ、回帰の際には氷でできた彗星頭部(核)から大量の蒸気が発生し、強い太陽風に煽られ、長大なテールを有する大彗星になると期待されたのである。従って、崩壊の可能性も当然、予測はされていたが、天体愛好家にとっては何とも残念な結果になってしまった。まさに、大彗星に成長するか、崩壊するかは“紙一重”の運命であったのである。

その代わりに、昨年9月に発見されたばかりのラブジョイ彗星(写真右)は予想外に増光し、立派なテールを見せてくれた。しかし、近日点は太陽から遙かに遠く離れた軌道で周回するため、崩壊する心配はないが、今後はこれ以上に増光することもなく、地球からどんどん離れ減光していく運命である。

(写真・文／神経内科：山下 順章)

お知らせ

INFORMATION

敷地内禁煙を実施

平成26年2月1日より敷地内での喫煙を禁止しております。皆様のご協力をお願いいたします。

消防訓練を実施

平成25年11月20日(水)、6N病棟を火元とした想定で避難検証訓練を行いました。訓練参加者は車椅子やストレッチャー、シートを使い、患者役の職員を速やかに避難誘導しました。消防署の方より、誘導者は避難させる順番にも気を配ることが大切であるとのこと指導いただきました。



新年行事を開催



平成26年1月1日(水)、病院幹部が椿神社に参拝し、1年の感謝と新年の無事を祈願しました。

1月4日(土)には病院新年会が院内多目的ホールで行われ、山本院長より今年のスローガンが発表されました。

また、1月7日(火)には東京第一ホテルで医局新年会を開催し、医師の他、地域連携等でお世話になっている当院OBの先生方や部署長も出席し、交流を深めました。